

めだかの学校だより

令和7年5月1日

第127号

学舎：周智郡森町

「一宮総合センター」

事務局：静岡県磐田市

家田 529-20

TEL: 0539-62-6691

校長訓話

第二二七回 校長 若尾 和孝

私って何者（勝手にテーマソングづくり）

私は、皆さんに誇れるような能力がなければ、たいした努力もしていません。55歳を超えても、自分が何者かよく分かっています。

そんな私が校長をさせてもらうにあたり、自分を振り返って見たとき、私は、出会った多くの人に影響を受けて創られたことに気付きました。

人は1日に1万回以上の選択をしているそうです。私も毎日、あと5分寝るか起きるかからはじまり、何万回も選択をしています。私の選択の基礎は、これまでに出会い、育てていただいた人たちの言葉でできていると思うのです。

私が影響を受けた言葉のうち、一部を紹介して自己紹介に変えさせていただきます。これらは、市井の人たちが何気なく言われたことから、書籍に載っていたものなど様々です。誰が言ったかよりも何を言ったかを大切にしたいので、あえて出典は記しません。

当日は「温故知新ソング黒ひげ」というオリジナル曲を紹介させていただきます。私に最も多くの言葉を届けてくれた恩人へ勝手につくったテーマソングです。

「私を創った言葉たち」
1 継続は力なり ほんとに

2 未来は、過去の泥の中に埋まっている。
3 始める勇氣、続ける勇氣、改める勇氣
4 悲観は気分、楽観は意志
5 いらないものを捨てて本質だけ残す。それがロックでありライフスタイルである。
7 難しい言葉で説明したがるやつは、たいして内容の乏しさを説明しているに過ぎない。
8 生き残る人は強い人ではなく、変化できる人
9 前に進むと必死に頑張った奴だけが、やっと現状を維持できるのかな。
10 法則。1歩近づけば相手も近づく。1歩さがれば相手は2歩遠のく。
11 効率や成果を性急に求める風潮は、若い人たちから考える余裕を奪い、科学や社会を豊かにしてくれない。
12 形式知と暗黙知、これからは暗黙知が重要
13 忘却曲線。忘れないためには反復
14 思うは招く
15 今日せん奴は、明日もせん
16 運というものは、周到な準備が絶好の機会に出会うことだそうよ。
17 小善は大患に似たり、大善は非情に似たり、見たり、聞いたり、試したり
19 大切な発見は、いろいろなことをやらされているときに巡ってきたりする。
20 人の居場所は、どうしたって人のそば

「温故知新（ソング黒ひげ）」
グラサンかけてハイライトをふかし
さあ次は何処へ行くのか

彷徨うタマシイ叫ぶ

白髪混じりの黒ひげさわり
ひたいが広がる頭かきむしり
さあ次は何をしようか
五感の全て研ぎ澄ましなが

まだガムシヤラ
それが運命だとこのヒゲが知る
未知の世界目指して
見通したやしない
そんな旅する

古きを訪ねて新しきを知り
真相をえぐって次世代を想う
さあ次の夢を見ようか
彷徨えるタマシイ叫ぶ

まだガムシヤラ
それが本性だとこのヒゲが後押す
未完の夢を抱えて
これで終わらない
そう旅に出る

まだガムシヤラ
それが運命だとこのヒゲが知る
未知の世界目指して
見通したやしない
そんな旅する



めだかの学校伝言板

第127回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／若尾和孝

教頭／水村春江

用務員／山本裕三

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※コロナはまだ収まっていません。

消毒とマスクはして下さいね。

開校日／令和7年6月7日（土）正午～

受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄（後見人）

期通年テーマ：

『 ♪ ♪ めだかは続くよ どこまでも… 』

今回のテーマ：

< …あるがままに… >

<時間割>

● 1時間10分の特別授業

社会「思うがままに…」溝口久先生

● 給食は取り寄せです。

PM3：15 開校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■花井孝さんの手紙から…載せちゃった

：我が家の椿の種を届けます。どのような花が咲くのかは保障できません。赤、白、ブチのいずれかです。庭の片隅に埋めて水を切らずに、忘れた頃に双葉が…。3、4年で花が咲くかも。我が家では、そのような方法で20本の椿にしました。それにちなんで、私のペンネームの1つに椿貴（ツバキタカシ）があります。主に外食の順番待ちの折に「花井さまア」と呼ばれるのが嫌で「椿さまア」と呼ばれております。私の方は、昨年12月15日に、本当に親しく夢を語り合い、青年の頃からの友人である石田保夫兄が先に旅立ってしまいました。突然の事で喪失感と申しますか淋しさ悲しさに完全に落ち込んでおります。SUS樹は、毎週末の静岡新聞の題字下に赤色で、「静岡から世界へ」世界基準SUSの広宣と、日曜日の昼TV、お宝鑑定団のスポンサーです。3月には掛川（大須賀）の新工場が完成して、今後遠州横須賀倶楽部との交流の話も進めていたのですが…。目覚めては「いかにすべきか我われを知らず」現在の心境です。一方では開き直って図々しい部分もありますので、良寛さんの説得力のある句は「自惚れることも、卑下することも上もなければ下もない。地獄へ行こうと極楽へ行こうと着いたところか丁度良い」。彼は私より5才も若かったのに、そこで私のポジションと申しますか、明日というタイムリミットを自覚

しました。今度こそ本気で”終活”に取り組む覚悟で…。とにかく淋しいのです。「君去らば春山誰れと共に遊ばん」の漢詩の一節を思い出しました。坪田譲治は「やがて来む日を思いつつ」とおっしゃっています。したがって行けるところまで行ってみようと考えております。と。色々と考えさせられるところがありましたので、載せさせて頂きました。皆さんはどのように感じましたでしょうか？。また別の後送のハガキには、めだかの学校も、伝統を重ねて、歴史的と申しますか、かつての敬老会のシートの様です。新風を吹き込みましょう。作戦会議を！とも。いいですねえ。若い人來たれ！ですね。いや違うか、肉体はありのままにあっても、精神は青年のままに！！ですヨね。（笑）。（パラメダカ）

『人・ひと・ヒト…だより』

●群馬県南牧村の松林建メダカ。前回は僭越ながらも校長を務めさせていただきありがとうございました。次回3月1日の学校ですが残念ながら欠席いたします。（期末で何かと忙しいため）。以下、次号の「めだかの学校だより」に掲載いただけますと幸いです。前回（125回）は校長を拝命され緊張をしましたが、皆さんに暖かくみ守られて何かと務めることができました。校長訓話では「地方が消える」などとドツキり発言をしたが、私の本意は「（地方よりも自分が消える前に）人生を楽しむ生きよう」ですので、お間違えのないよう。6月には生徒として登校予定ですので、引き続きお願いいたします。だつて。

●森町の袴田克臣メダカ。第126回めだかの学校の校長、生まれてはじめての出来事にびっくりしたが、幸い若い時から行動

を共にしていた杭迫先生の考え方や活動暮らし方、思い出を皆様方にお知らせできると思ってた大変うれしく思います。良いチャンスがありがとうございます。だつて良かったですね。良い行いをしているのと巡り巡ってくるものですね。（笑）。

●森町の実野智加志メダカ。用務員、精一杯務めさせていただきます。だつて。また昨夜、知人のお通夜に行ったら、故人川柳が飾られていました。『三世代びよんびよん跳ねるフライパン』『さわやかな汗かいて知る野良の幸』『花みずき咲くふるりに会いに行く』：知人の方は川柳やっていたんですね。それを飾る、粋ですね。心が和みます。それを見る、智加ちゃん、いいね。

●浜松の大谷洋介メダカ。いつもお便りありがとうございます。この年になっても出番があり、生きていてよかったのか、悪かったのか、まわりがどんな居なくなつてつらくてしょうがありません。まずは出席の便りです。だつて。めだかの学校では、まだまだ出番はありますぞ！（笑）

●浜松市の鈴木偉代メダカ。立春を過ぎたとはいえ、寒波の襲来で寒い日が続いています。先日の中舞う雪にはビックリです。126回めだかの学校の先生役、ビックリしました。何を話せばよいのか、このところ、あれやこれと悩んでいます。この世に生を受けてから振りかえり、出会ってきた人の本を読んだりしながら、あれこれ考えている日々です。まとまったお話になるかわかりませんが、頑張ってみます。だつて。この便りが出る時はもう終わっているね。悩んだことが嘘のようだったたりして…。（笑）

●磐田市の今村純子メダカ。第126回めだかの学校お世話になります。出席される皆様との勉強大変うれしく楽しんでいます。皆々様と。若くて、ピチピチと張り切る若

い方々。日々の仕事とユウユウと自信をもつて発言できる中年さん。永い人生経験タクサンある中でも新鮮な若い方々の元気を、行動を聞いて張り切る高齢者。皆様と出会って元気をいただく高齢者。いつまで：か楽しみが？、だつて。めだかの学校って、良くも悪くも年齢も老若男女もごっちゃ混ぜ。（笑）どこまで続くのかねえ。それにしてもいい刺激になつてくるね。

●三島市の野村諒子メダカ。3月1日のご案内をいただいていたのに、お返事をしていないですみません。今回も会議と重なり参加できません。めだかの学校だより楽しく読ませていただいています。皆さんの活躍、人生を楽しんでいらつしやる様子が伺えていいですね。私もまだ自分のできる事はないかと思いつつ、日々を送っています。磐田市議会、女性がたくさん出るそうですね。期待しています。めだかの学校の次年度申込みもしたいと思っています。よろしく願います。だつて。

●浜松市引佐町の鈴木計芳メダカ。年賀状にいろいろ沢山書いてすみません。弁当の件は水島さんのアイデアです。みんなで楽しく食べるのもいいですね。最後の30分、三人位近況報告のお話をしてもらうとイイと思います。また寒くなるのでお互い健康第一で行きましょう。だつて。春先は寒暖の差が激しく健康維持するのが大変。ご自愛を！ですね。

●磐田市の草地博昭メダカ。3月1日も出張につきめだかは欠席になります。いつもすみません。4月に向けて、そしてひとりひとりが安心できる環境を整えられるようしっかりと準備していきます。だつて。選挙出来てよかったね。当選おめでとう！！2期目の心意気もいいね！

●小田原市の溝口久メダカ。メダカの学校だよりありがとうございます。3月1日は

登校できません。せっかく鈴木計芳さんがお話を聞きたいとのことですが、申し訳ないです。鈴木正士さんがそろそろホスピスに入るのではと気になっていきます（*正士さんは2月19日に聖隷三方原病院ホスピスに入居しました）。…小田原での生活・仕事は充実しています。またお会いしましょう!!だって、「9月の33期の特別授業の先生はどう?」の問合せに「9月は無理だけど6月は可能性アリ」と言う訳で、6月7日（土）の特別授業の先生に決まりました。ハイ。

●飯田市南信濃の玉置洋一メダカ。いつもお便りありがとうございます。めだかの学校、いつも出席できないのに、心温まるお手紙を添えて、ご案内を送って頂き、申し訳なく思っています。3月も申し訳ありませんが欠席という事をお願い致します。次回には、かぐらの湯の宣伝もかねて、できる限り出席させていただきたいと考えております。「かぐらの湯」「道の駅遠山郷」のグランドオープンが10月上旬です。榊原さんが言われるように「信州遠山郷特別授業」が出来れば本当にありがたいです。是非実現できるようにお願いしたいところです。楽しみにしています。だって、いいね。温泉付きの『めだかの学校特別授業』遠足を兼ねてバスをチャーターしてみんなで行こう!実行委員を決めて、ハッパ手を挙げてください!!行きたい人も。

●磐田市の秋山勝則メダカ。「榊原さん、何でもやりますから言ってみて!!」だって。いや〜心強いねえ〜。早速で悪いけど『信州遠山郷・めだかの学校特別教室』の実行委員長、引き受けて!!温泉付きだよ(笑)。

●磐田市の鈴木祐之メダカ。『第126回めだかの学校』は、今回も欠席です。すみません!平日（土も含む）は調剤があるため長時間の店空けはできないのデス。皆さ

んによりしくお伝え下さいませ。元気に仕事している。…ではまた。35周年は（日）か（祝）に開催を!だって。どう?飯田市南信濃の温泉付き『信州遠山郷特別教室』11月の紅葉の頃の日曜日、遠足も兼ねての特別教室。これなら出席できるかな。ひとりゲットだったりして（笑）。

●袋井市の大場敬子メダカ。いつも受付だけですみません。皆さんの元気な顔を拝見できるのが楽しみです。トランプさんたち世界の反グローバリストたちが頑張ってますね。日本は何周遅れになるのやら、だって。ps たよりの大庭、違ってますよ。大場です、とも。校正ミスです。ごめんなさい。受付、ほんとに助かってます。感謝!感謝!!ですヨ。

●袋井市の松本芳廣メダカ。今日（3月7日）、そばの里「深萱ふんど」を開いている長谷川政夫さんのところへ行ってきました。おすすめのおろし蕎麦ほか2種と、混んでいる時は注文しないでくださいとお品書きが書いてある蕎麦がきを頂いて来ました。食レポは出来ませんが、高速に乗って行ってきた甲斐がありました。同行した友人なども感激していました。商売柄あまり登校出来ない、めだか生の元気な様子を報告します、と。長谷川メダカのにこやかな写真と共に、LINEで。こうしためだか生の近況報告、嬉しいですね。感謝です。

●浜松市の水島加寿代メダカ。いつもありがとうございます。今回は欠席。自治会仕事で動けそうにありません、残念です。町内のおまつりも子供が少なく、人手不足で考えること山盛りです。セミナーで「森町のおまつりは祭り好きでいっぱい!」とのこと。我が町を愛する人を育ててきた証ですね。素晴らしい!!だって。

●浜松市佐久間町の山田修平メダカ。この

地に移住して十数年になります。NPO有償運送の運転手を途中中断がありました。が現在もやっています。人口減と共に利用者も半減していますが、家から病院、店先などの送迎は貴重な存在です。しかし運転手も高齢化で78歳の定年退職により来年度は3名ほどリタイアします。（自分もそれにあたりませんが、それを補充する若い世代が全く居りません。こういうことが重なって地域が崩壊、消滅していくのでしょうか、残念です、だって。山間の地域の現実はほんとうに厳しいですね。浜松市は大きく区割りされて、ますます山間地域は取り残されそう…。

●磐田市の安形恵子メダカ。いつもご案内いただきありがとうございます。第126回めだかの学校ですが欠席させていただきます。2才10ヵ月になる孫に元気をもらっている毎日です。2月26日が第2子の誕生予定日で、大きなお腹の娘と第1子の孫に振り回されています。孫の成長を見守りながら、自分も楽しんでいきたいと思っています。少し落ち着いたら、また出席できればと思っています、だって。いや〜まさにバアちゃんの出番真っ盛中。次回のメダカの便りが届くころは大奮闘中だね。頑張るバアちゃん!!。フレーフレーバアちゃん。

●磐田市の宮沢博行メダカ。来る3月1日のめだかの学校に出席致します。葉書というアナログ手法がたまらなく良いです。当日が楽しみです、だって。いや〜嬉しいですね。デジタル弱く、アナログ大好きなバアちゃんでございますれば（笑）。

●磐田市の小野里美メダカ。弥生3月も近づき少しずつ春の気配を感じるようになってきました。第126回めだかの学校は申し訳ありませんが仕事（桶ヶ沼谷ビジターセンター）の為、欠席させていただきます

ます。母（5月で米寿）も私もおかげさまでとても元気にしています。昨年はアクトシティで「アルフィー」、今年の1月は御園座に「三山ひろし」を2人で観に行き、青春（?）してます、だって。またお母さんと一緒にどうぞ。米寿の現役のめだか生もいますヨ（笑）。

●浜松市の水村春江メダカ。どこかで春が〜。少しずつ日脚も伸びてきましたね!!いつもありがとうございます。昨年クリスマスでサンドマミーを唄い、先日エンタメ発表会では司会を!。何か路線が変わってきました。歌って踊れる司会者っていいかも?、だって。出席届の葉書、賑やかなお手オンパレード。切手不足で遅れて失礼と。届きましたヨ。3月3日でした、ハイ。（笑）。

「新入生紹介」

●掛川市の山本裕三メダカ。2013年に掛川市の市議に最年少で当選。2023年最年少の議長に。その後、公募の自民党静岡第三選挙区の支部長に。前回の衆院選に立候補するも思いつかず。身長183cm、体重75kg。素直でせっかちで、趣味はキャンプ、カラオケと言う、42歳の2児のパパ。

●磐田市の浅岡道範メダカ。リモート家庭教師やデジタルサイネージ営業をしつつ、月1回友人とラジオ出演している。家では干し柿づくりや栗の出荷も。

× × ×

× × ×

もっともつと伝えたいが、紙面の都合で今回はこれまで。お手紙ちようだいね。

《お知らせ》

めだか春秋は今回お休みします。

■事務局だより

我が家では、ツバメが子育て真っ最中！いやゝ賑やかです。フン処理が私の日課です。ハイ。(笑)

さて、第126回めだかの学校は、3月1日の土曜日。校長袴田克臣、教頭村松達雄、用務員天野智加志の森町3人衆。なんと、校長講話「60歳の頃、目の不自由な人への朗読ボランティアで、早口言葉の講習で『いろいろな売り』を教わったと、その『いろいろな売り』を朗々と語る。席へ戻ると村松教頭『いろいろな売りは食べものですか？薬です。京都の薬売りが森町を通じて小田原で薬屋を始めた』と。補足するように天野用務員『小田原に『いろいろな売り』という薬屋があるヨ』だつて。いやゝ息もびつたり！授業終わり頃には、天宮神社と小國神社の舞の祭典と、春の蔵展の宣伝と、まさに森町デー。(笑)。事務局から、今回は返事のハガキが多かったことと、鈴木正士メダカからの「めだかの皆さんには大変お世話になりました。ありがとう」のメッセージと、城内実メダカのメッセージを話す。今回の新入生は掛川市の山本裕三メダカと磐田市の浅岡道範メダカの2人。山本メダカは給食のあと早退。



美味し給食を皆早めに食べ終えたので授業時間を10分早めにする。1時間目、大谷洋介先生の道徳「報徳と骨董と...」。骨董は、文書や古書、勝海舟、山岡鉄舟、松島十湖などの掛軸を展示しながら、骨董の価値は、金額云々ではなく、自分がいいと思えばそれでいい、お持論を吐露。報徳

については「みんなの二宮金次郎」のマンガ本の話から報徳の教えなど話す。20分の鐘の音に「もつと話させて」と、鐘の音もなんのその、教頭ストップの10分オーバーだった。

(笑)。2時間目は、鈴木偉代先生の社会「わたしのボランティアとは...」。ボランティアとは、自分の意志で自ら進んでやること。ボランティアの4原則や、国立天竜病院勤務、生と死を考える会の世話人とか、レクリエーション協会でキャンプ訓練、ホールアース自然学校で色々やったなど話す。3時間目は、中村明男先生の音楽「浜松から音楽を広めよう...」と、ヤマハ音楽関連の仕事につき、退職後はフオークのアマチュアグループの仲間たちと浜名湖フオークフェスティバルを開催、年代を示して語る。三者三様、よかったね。

私語飲食すべて禁止の次回3役発表は、校長八木義弘、支える教頭は水村春江、用務員は新人の山本裕三をあてる。校長と用務員が欠席と早退でないの、代理校長伊藤英雄、用務員代理新人の浅岡道範がして引き継ぎをする。今回はこのあと、全員の写真撮影。並んで並んで、と動きが鈍い。「みんな年をとったなア」と花井孝メダカが取り仕切ってくれた。(笑)。最後は「今



日の日はさようなら」を歌いつつ、握手をして再会を！交わす言葉も笑顔でいいなア。

第127回めだかの学校職員会議を、3月29日学舎で開く。出席者は水村春江教頭、山本裕三用務員、榊原淑友、石野省三、埋田千聡、松本芳廣、榊原幸雄の7名。黒板に、通年テーマ、第124回、125回、126回のテーマを書いて、アサギマダラやフジバカマの雑談をしながら、みんなの集まるのを待ち、テーマを話し合う。第126回は「旅の夢をつなぐで、結んでいるような感じなので、第127回は『あるがままに...』にする。授業

の先生は、溝口久メダカ、彼はポケットがいっぱいあるので、社会「思うがままに...」と、自由に話してもらうことに。今回も榊原淑友舎監が美味しい紅茶を用意してくれた。感謝！

※追伸 4月21日朝、八木義弘メダカから都合により校長を辞退させて欲しい、との連絡があり、めだかの便りの校長講話の原稿もまだだったこともあり、了解することになりました。急遽まだ校長をしていない若尾和孝メダカに連絡し、校長受諾と校長講話をお願いをしました。そんな訳で、第127回校長は若尾和孝、教頭は水村春江、用務員は山本裕三となります。ご了承ください。



■第33期の受付を始めます。

第33期は令和7年9月1日から令和8年8月31日までです。6月1日の開校日より受け付けます。毎年度手続きが必要です。申込書を同封しますので8月31日までに提出してください。

■今回も遅れました。ごめんなさい。

いつも生原稿のメール打ちの石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、大島たまメダカ、埋田千聡メダカ、秋山勝則メダカ、水島加寿代メダカ、写真撮影の横山忠志メダカ、村松達雄メダカ、まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さん、ありがとうございます。感謝！

■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行は、令和7年8月1日予定。締切7月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙・FAX・LINE・FBで。メールの方は、
《mavun.f100@gmail.com》
間瀬亮太090・5009・0986です。
(アドレスが変わりました。まだ昔のアドレスも可)

■めだかの学校の事務局

〒438-0105静岡県磐田市家田529番地20 榊原幸雄方 TEL 0539・62・6691 (FAX同じ)
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150。電話 0538・89・7730 開校日の午前11時以降のみ使用可
携帯 080・1612・9130

